

■ 流山市立常盤松中学校

新たな一歩を踏み出す



## 学び・鍛え・磨く 校 訓「全力投球」

~可能性は無限大~



## ~集大成ではなく、出発点として~

校 長 佐藤 専太郎

修学旅行の起源は、136年前、東京師範学校が野外教練と文化財の見学で千葉県銚子市を訪れたのが始まりと言われています。その2年後には、学術研究を目的としたものとなりました。

今年度、「発進〜自分を制し、自ら学ぶ〜」のスローガンのもと、5月28日から30日までの3日間で修学旅行を実施しました。日本が世界に誇る文化都市(京都・奈良)の歴史的な遺産や遺物等に触れることにより、日本の歴史や文化に対する理解を深め、先人たちの知恵や工夫を学ぶ機会とすべく、事前学習したことを班別行動、学級別行動を通して検証してきました。

昨年度、3年ぶりに林間学園、修学旅行ともに実施しましたが、今年度はコロナウィルス感染症対応が5類への引き下げになっての宿泊行事となりましたが、最上級生としての自覚と責任ある行動を心掛け、「修学」の名に相応しい修学旅行を作り上げたと思います。

2日間の班別行動では、体調が悪くなってしまったりする仲間に対しての心遣いを見ることができました。

青蓮院では、静寂かつ厳粛な雰囲気の中で、自己を律する「修養会」(1.法話2.お抹茶3.お琴鑑賞)を体験しました。法話では、生徒にとって、人として必要かくべからざる「大切な五つの心」を中心としたお話がありました。お抹茶が日本の文化・精神史において重要な役割を果たしてきたことを学び、基本的な作法を体験しました。琴の演奏では、室町時代につくられた庭園を背景に生田流の先生方による琴の音色を鑑賞しました。

法話のなかでお教えくださった「大切な五つの心」をご紹介します。

- 1.『ハイ』という"素直な心"
- 2.『すみません』という"反省の心"
- 3.『おかげさまです』という"謙譲の心"
- 4.『させていただきます』という"奉仕の心"
- 5.『ありがとうございます』という"感謝の心"
- 《よき心》の灯で一隅を照らそう





法 話

琴演奏の鑑賞

「いちぐうを照らす」とは、自分の 置かれている場所や立場で、最善を尽くすことで社会が明るく照らされるという意味です。日々の生活の様々な場面で、素直さや反省する気持ち、謙譲と奉仕の精神、そして、人に感謝することや相手の気持ちを大切にできる思いやりを持った生徒に育てます。

3日間の日程を終え、帰校した際の生徒達の「満足」した表情に、今回の修学旅行が充実したものであったことがうかがわれました。今回学んだこと、発見したことを大切にしながら、最高学年としての誇りを持って、残りの中学校生活をさらにレベルアップさせるよう願っています。









※表彰者のみ抜粋

奈良班別学習

京都班別学習

京都学級別体験

## 市内大会、大健闘!

野球:3位

水泳:女子総合2位 伊藤千紘(男子200m個人メドレー 2位)

竹内凛音(女子100m平泳ぎ 1位、女子100mバタフライ 2位)

藤谷みく(女子100m平泳ぎ 3位)

柔道:大庭さと(女子個人戦 2位)

関谷優心(男子個人戦優勝、男子重量別3位)

バレー: 準優勝

剣道:男子団体(優勝) 女子団体(優勝)

サッカー:福元麗空(優秀選手賞)

ソフトテニス男子: 男子団体(3位) ソフトテニス女子: 女子団体(優勝)

日井、伊藤ペア(優勝)※県大会出場

山本、稲川ペア(ベスト8)※県大会出場

卓球:和田治樹(男子シングルス 優勝)

バスケ女子:3位

陸上:男女総合(3位)、男子総合(3位)、女子総合3位

須賀巧 (男子2年100m 1位、男子200m 1位)

山上永悟 (男子800m 1位) 上杉創亮 (男子3000m 2位)

樋口碧空(女子3年100m 1位、女子200m 2位)

内藤柚衣(女子1500m 3位) 山本菜々美(女子1年走幅跳 2位)

## 7月の主な予定

3(月) 3年実力テスト

17(月) 海の日

4(火) 1年校外学習(富津市)

18(火) 給食最終日

トッキ―タイム(2・3年)

19(水) 大掃除

6(木) トッキ―タイム

20(木) 終業式

0(11) 1 1 1 1 1 1 1

7(金) PTA運営委員会

21(金) 面談期間開始

漢字検定

14(金) 期末保護者会

文化部発表会

海の日:海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う。